



■開催の目的

平成30年7月西日本豪雨災害で呉が甚大な被害を受けた際、ふなっしーはじめ多くのキャラクターが「呉の力になりたい」と訪問や募金活動など支援をしてくれました。

その恩返しの思いも込めて呉でのキャラクターイベント開催を呼び掛け、呉のまちが復興に向かって進んでいることをPRし、「元気な呉に遊びにきんさい!」と全国に向けて発信したいと考えました。

また、呉氏が他地域の方々にも愛されていることを呉市民に知っていただき、呉氏をさらに活用するきっかけにしたいという思いも込めて開催しました。

主 催	復興応援呉ご当地キャラ祭実行委員会・呉市					
開 催 日	令和元年5月11日（土）、12日（日）10:00～15:00					
場 所	大和波止場（大和ミュージアムとなり）					
出演キャラ	27キャラクター	経 費	収入	呉 市	999,560 円	
飲食等ブース	37事業者			ステージ協賛	2,800,000 円	
来 場 者 数	5月11日			約15,000 人	ブース出店料	368,500 円
	5月12日			約17,000 人	計	4,168,060 円
	計	約32,000 人	支出	4,071,683 円		

■運営体制



官・民が協力し企画・実施

■前日祭(5月10日 18:00~19:00)

JR 呉駅改札前広場において、キャラクターたちが当イベントPRや写真撮影等のグリーティングを行いました。



■特設観光案内所

呉観光協会や観光ボランティアの会メンバー等が、JR 呉駅からイベント会場への誘導や観光案内を行いました。



■メインステージ

参加キャラクターによるパフォーマンス、またご当地PRタイムとして海上自衛隊音楽隊の演奏やラムネ早飲み大会などを実施し、呉らしさあふれるステージとなりました。



■キャラクターPRブース

参加キャラクターによるグッズ販売、ノベルティ配布、グリーティングなどを実施。来場者とキャラクターが直接触れ合い、親しむ場となりました。



■ボラ写真展

東京在住のカメラマン神戸志保さんが、災害ボランティアをしながら撮影した、ボランティアの方達の写真を集め、いしだカメラが撮影した被災地の写真と一緒に展示しました。災害の被害や復旧活動、その後の復興について考えるきっかけとなりました。



■飲食・ワークショップブース

37事業者が参加し、呉海自カレーや細うどんなど呉名物をはじめ、呉の食材を使った美味しいもの、雑貨等のワークショップブースが並び、家族連れなどで賑わいました。



■海上自衛隊 PR ブース

海上自衛隊の「水中処分母船 YDT04号」が停泊し、一般公開を行いました。平成30年7月豪雨災害時に、海上自衛隊が災害復旧作業を行う際に使用された船のひとつであり、当日は乗船を待つ列が絶えない状態でした。



■ボンネットバス特別運行

会場の大和波止場と市街地、また潜水艦が間近に見えるアレイからすこじまをつなぐボンネットバスが、1日4便運行しました。イベント終了後に乗る人も多く、懐かしのボンネットバスに乗って、呉ならではの見どころを楽しめた等とお声をいただきました。



ボンネットバス時刻表				
呉中央桟橋	観音橋	貿易倉庫	呉中央桟橋	
① 10:30	10:40	11:00 着	11:15 発	11:30 着
② 13:00	13:10	13:30 着	13:45 発	14:00 着
③ 14:00	14:10	14:30 着	14:45 発	15:00 着
④ 15:00	15:10	15:30 着	15:45 発	16:00 着


 昭和生まれのレトロなボンネットバス♪
無料で特別運行！

 最上級の乗車環境をぜひご体験ください。
 乗車は無料ですが、乗車には乗車券が必要です。
 乗車券は各乗降ポイントで販売されています。
 乗車券は各乗降ポイントで販売されています。

■メディア露出

日にち	内容	放送時間
5月8日(水)	RCC ラジオ「おひる一な」出演	約20分
5月9日(木)	中国新聞掲載	
5月10日(金)	NHK「おはよう日本」	約30秒
	テレビ新広島「ひろしま満点ママ」	約3分
	テレビ新広島「プライムニュース(生中継)」	約4分
5月11日(土)	広島テレビ「news every サタデー」	約1分
	広島ホームテレビ「スーパーJチャンネル」	約1分
	テレビ新広島「ライブニュース」	約1分30秒
5月12日(日)	NHK ニュース	約1分
	中国新聞掲載	
5月13日(月)	広島テレビ「テレビ派」	約3分
5月15日(木)	産経新聞掲載	

5月9日 中国新聞

5月12日 中国新聞

被災地応援 ゆるキャラ集う 呉で11・12日祭り

西日本豪雨の被災地応援に全国のゆるキャラが集う「復興応援 呉ご当地キャラ祭」が、11、12日、呉市宝町の大和波止場である。「呉のみんなを笑顔にしたい」。市のキャラクター呉氏の呼び掛けに仲間が応じた。

千葉県船橋市の非公認キャラクターふなっしー(11日のみ)や熊本県のくまモンなど27のゆるキャラ。自由に触れ合え、写真撮影もできる。各キャラクターの自己PRステージやグッズ販売もある。呉氏と他のキャラクターとの限定コラボグッズも販売する。

海上自衛隊呉警備隊に所属する船の一般公開、東京都の写真家神戸志保さん(33)が豪雨被災地でボランティアの姿を撮影した写真展なども。市内の飲食店や雑貨店がブースを設ける。

復興の励みにと市内の企業などで行く実行委員会と市が企画した。両日とも午前10時～午後3時。無料。「前日祭」が10日午後6時からJR呉駅であり、呉氏や熊本弁毒舌キャラクター「きくちくん」などが登場する。(今井裕希)



キャラと交流 呉元気 祭に家族連れら

西日本豪雨の被災地である呉市を元気づけようと、全国のゆるキャラが集う「復興応援 呉ご当地キャラ祭」が11日、呉市宝町の大和波止場が始まった。家族連れが約1万5千人が来場。汗ばむ暑気の中、キャラクターのふれあいを楽しんだ。12日まで。

初日は千葉県船橋市の非公認キャラクターふなっしーや熊本県のくまモンなど24のゆるキャラが、自己PRステージなどで会場を盛り上げた。ふなっしーが登場し、呉市のキャラクター呉氏たちとダンスを踊り、会場の盛り上がりは最高潮に。ふなっしーは「みんなを元気づけていこう」と意気込みを語った。

復興の励みにと市内の企業などで行く実行委員会と市が企画した。両日とも午前10時～午後3時。無料。「前日祭」が10日午後6時からJR呉駅であり、呉氏や熊本弁毒舌キャラクター「きくちくん」などが登場する。(今井裕希)

動員は中国新聞 デジタルで



5月15日 産経新聞

豪雨からの復興発信

昨年の西日本豪雨被災地を元気づけるべく、全国のゆるキャラが集う「復興応援 呉ご当地キャラ祭」が11、12日、呉市宝町の大和波止場である。市内の飲食店や雑貨店がブースを設け、キャラクターの自己PRステージやグッズ販売もある。

復興の励みにと市内の企業などで行く実行委員会と市が企画。午前10時～午後3時。無料。海上自衛隊呉警備隊に所属する船の一般公開や豪雨被災地でボランティアの姿を撮影した写真展などもある。(今井裕希)

呉ご当地キャラ祭に27体集結

「復興応援 呉ご当地キャラ祭」が11、12日、呉市宝町の大和波止場である。市内の飲食店や雑貨店がブースを設け、キャラクターの自己PRステージやグッズ販売もある。



■成果

- ・北海道から九州まで全国各地からキャラクターファンが呉に集まり，当イベントに参加するだけでなく，ボンネットバス乗車や艦船巡りを体験したりと，呉の各地を観光した人が多く，市内滞在や周遊に繋がりました。
- ・来場者を心からおもてなしした結果，「何度でも呉に行きたくなった」「呉に愛着を持った」というコメントが，SNS上において多数寄せられました。
- ・当イベントが複数のメディアに取り上げられたことにより，呉のPRに繋がるとともに，復興に向かって一歩ずつ前進している元気な呉の姿を発信することができました。
- ・キャラクター同士の絆と活動が，人と人を結び，まちの活性化に繋がることを多くの方に知っていただくことができました。
- ・「ボラ写真」等を通じ，来場者が平成30年7月豪雨災害について改めて考える機会となりました。
- ・民間事業者と行政が連携し，一体となって呉を盛り上げるイベントを行うことができました。

